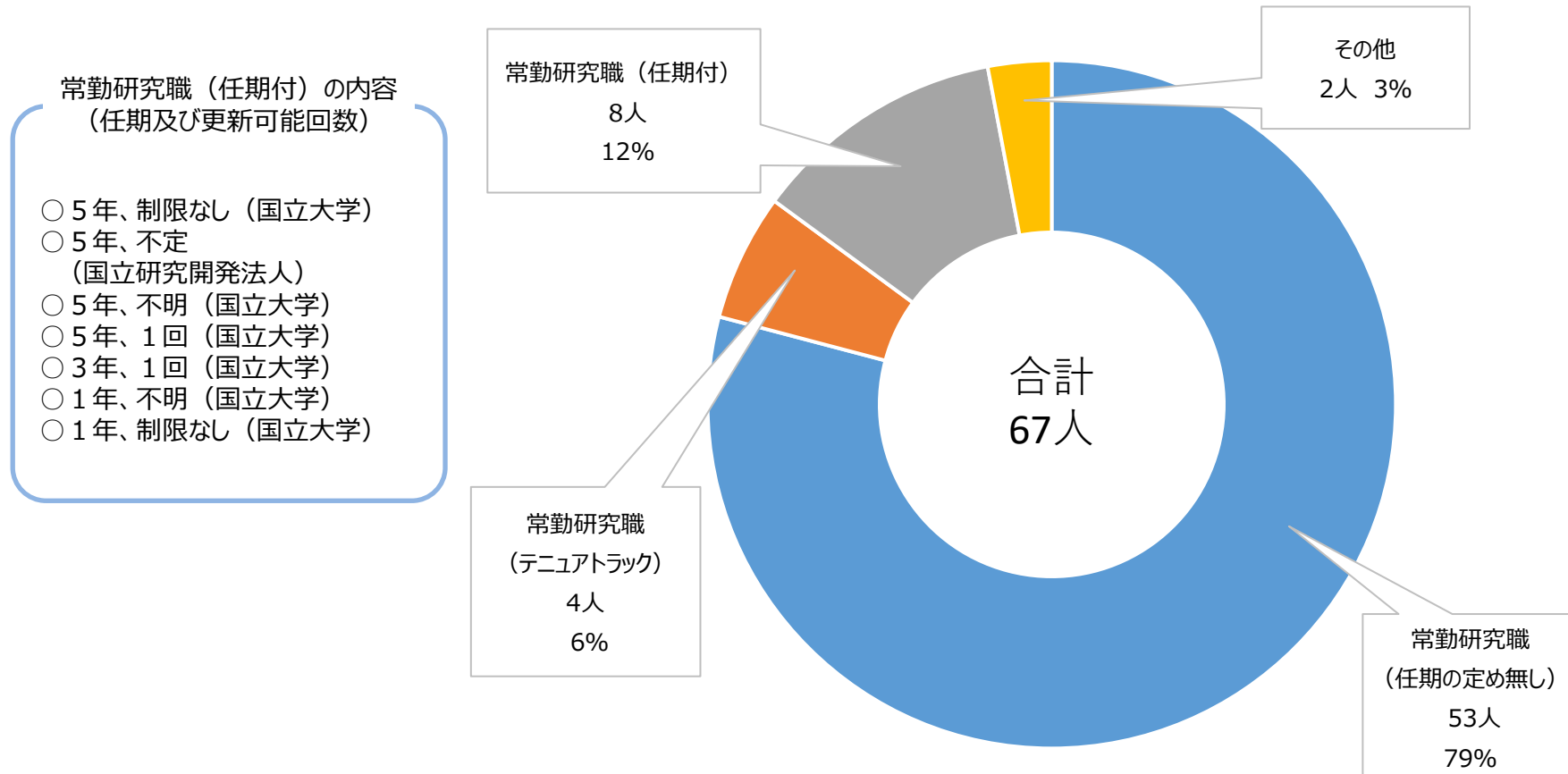


令和4年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況①）

平成28年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について2回目の追跡調査を実施

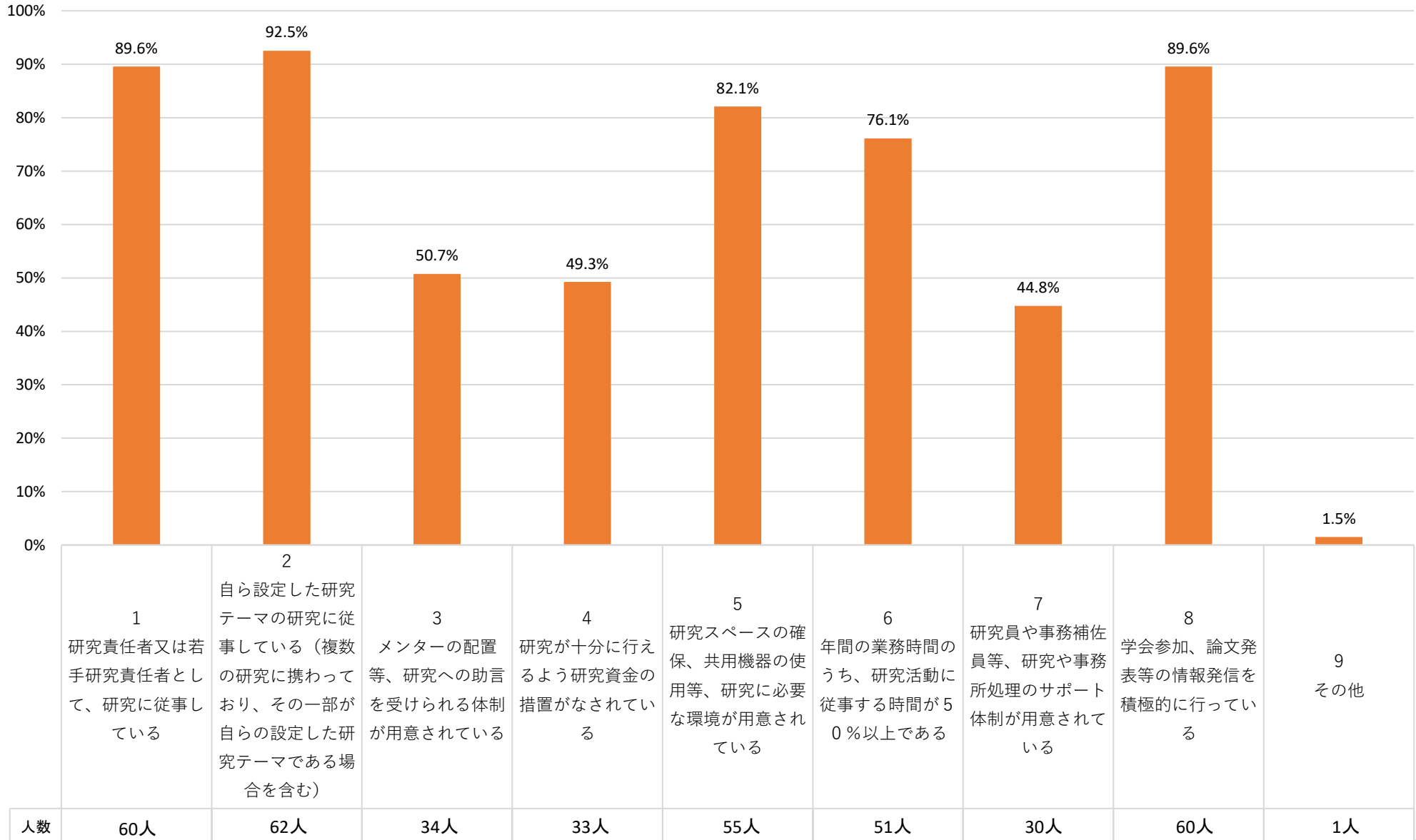
- ・調査実施時期：R4.10月
- ・調査対象期間：H31～R3年度の3年間 ※1回目調査（調査対象期間H28～H30）の結果については[こちら](#)
- ・調査対象者数：86名、回答者数：67名（回答率 77.9%）

○雇用形態について



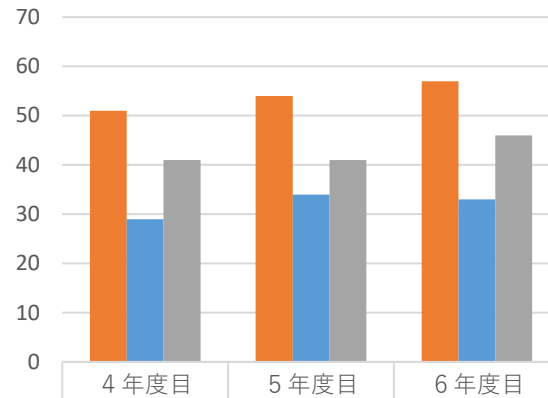
令和4年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況②）

○研究活動状況について



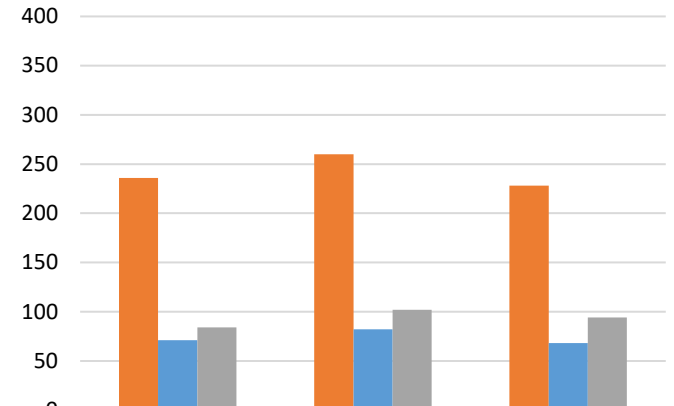
○研究活動実績について（論文発表）

<論文発表人数>



論文発表人数 (人)	51	54	57
うち、国際共著論文	29	34	33
うち、第一著者・責任著者	41	41	46

<論文数>



論文数 (件)	236	260	228
うち、国際共著論文	71	82	68
うち、第一著者・責任著者	84	102	94

※括弧内は回答者数に対する論文発表人数の割合

最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・6年度目）

○Advanced Materials Technologies ○Ame. Mineral. ○Amino Acids ○Applied Physics Letters ○Astrophysical Journal ○Atmospheric Pollution Research ○Bioscience Biotechnology Biochemistry ○Chemical Communications ○Chemical Science ○ChemNanoMat ○Clinical Immunology ○Communications Biology○Communications Materials ○Dalton Transactions ○Games and Economic Behavior ○IEEE Access ○IEEE Transactions on Electromagnetic Compatibility ○IEEE Transactions on Pattern Analysis and Machine Intelligence ○International Journal of Central Banking ○International Journal of Molecular Sciences ○J. Eur. Math. Soc. (JEMS) ○Japanese Journal of Applied Physics ○Japanese Psychological Research ○Journal of Contaminant Hydrology ○Journal of Environmental Management ○Journal of Logic and Computation ○Journal of the Physical Society of Japan ○Living Reviews in Relativity ○Macromolecules ○Nanotechnology ○Nature Communications ○Nature Plants ○New phytologist ○Nucleic Acids Research ○Optics Letters ○Physical Review B ○Plant Cell Physiology ○Plant Physiology ○PNAS ○Science and Technology of Advanced Materials ○Scientific Reports ○Semiconductor Science and Technology ○Sensors & Actuators B:Chemical ○Southeast Asian Studies ○Talanta

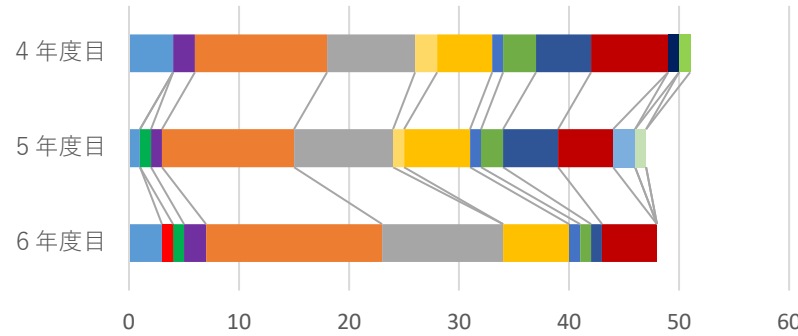
(アルファベット順)

令和4年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況④）

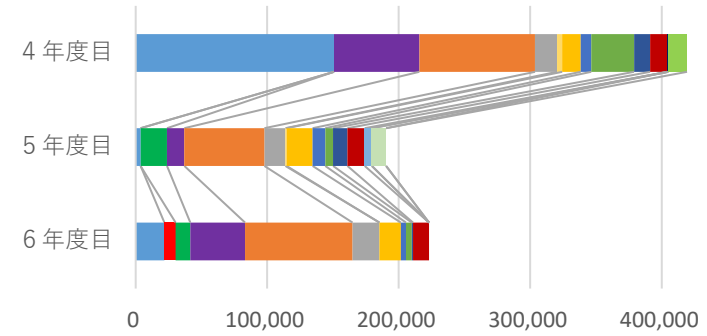
○研究活動実績について（科研費）

※各年度2件まで回答

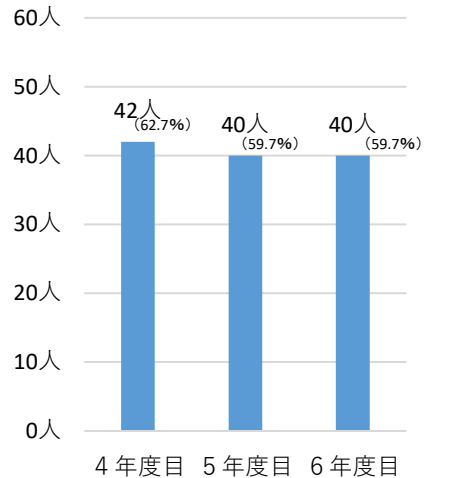
＜種目別獲得件数（件）＞



＜種目別獲得金額（千円）＞



＜獲得人数＞



※括弧内は回答数者に対する科研費獲得人数の割合

＜種目別獲得件数(件)＞

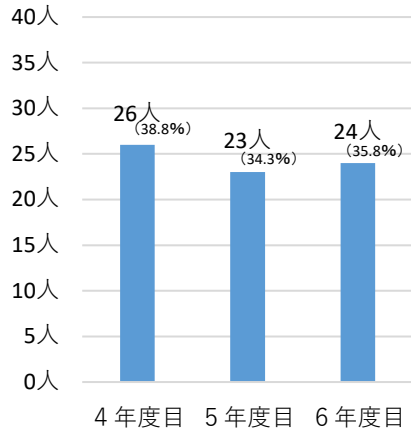
＜種目別獲得件数(千円)＞

	4年度目	5年度目	6年度目	4年度目	5年度目	6年度目
■新学術領域研究	4	1	3	150,790	3,700	21,910
■学術変革領域研究(A)	0	0	1	0	0	8,500
■学術変革領域研究(B)	0	1	1	0	20,100	11,200
■基盤研究(A)	2	1	2	64,850	13,200	41,500
■基盤研究(B)	12	12	16	87,990	60,870	81,830
■基盤研究(C)	8	9	11	16,670	15,960	20,350
■挑戦的萌芽研究	2	1	0	4,000	900	0
■挑戦的研究(萌芽)	5	6	6	14,040	19,790	16,350
■挑戦的研究(開拓)	1	1	1	8,000	9,620	3,900
■若手研究(A)	3	2	1	32,560	5,990	4,400
■若手研究(B)	5	5	1	12,230	10,870	1,000
■若手研究	7	5	5	13,080	13,130	12,040
■研究活動スタート支援	0	2	0	0	5,460	0
■特別研究員奨励費	1	0	0	800	0	0
■国際共同研究強化(A)	0	1	0	0	10,800	0
■国際共同研究強化(B)	1	0	0	14,200	0	0

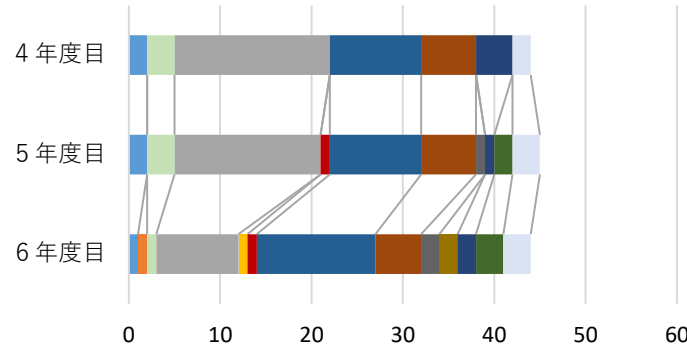
令和4年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

○研究活動実績について（その他外部資金） ※各年度4件まで回答

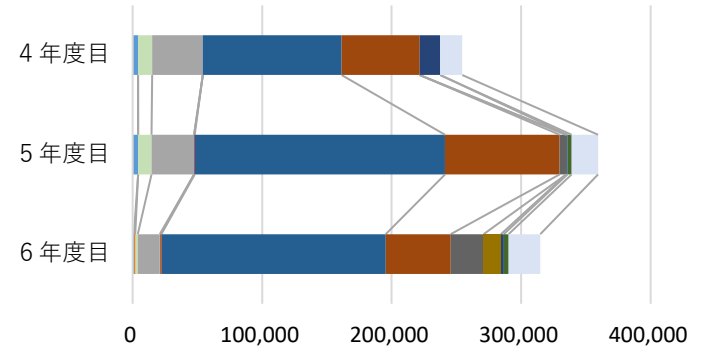
< 獲得人数 >



< 助成団体別獲得件数（件） >



< 助成団体別獲得金額（千円） >



※括弧内は回答者数に対する外部資金獲得人数の割合

助成団体（6年度目）

- JST A-STEP ○JST CREST
- AMED 革新的先端研究開発支援事業 ○AMED 次世代がん医療創生研究事業
- ONARO ○ONEDO ○豊田理化学研究所 ○ニッポンハム食の未来財団
- 株式会社カクイチ（寄付金） ○フジシール財団 ○ロッテ財団 ○旭硝子財団
- 加藤記念財団 ○旗影会 ○秋山記念生命科学振興財団 ○田沼グリーンハウス財団
- 成茂神経科学研究助成基金 ○川野小児研究助成 ○武田科学振興財団
- 薬学系研究助成 ○量子化学探索研究所 ○東北大学 TI-FRIS ○九州大学 QRプログラム
- 熊本大学 めばえ研究推進事業 ○国立天文台大学支援経費 ○産総研-名大アライアンス事業 など

< 助成団体別獲得件数(件) >

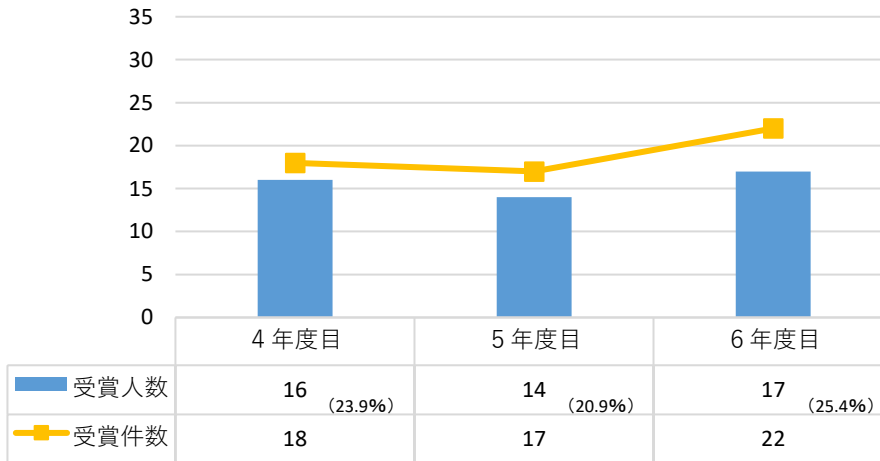
	4年度目	5年度目	6年度目	4年度目	5年度目	6年度目
■株式会社	2	2	1	4,101	4,240	1,000
■一般社団法人	0	0	1	0	0	1,000
■一般財団法人	3	3	1	11,000	10,225	2,000
■公益財団法人	17	16	9	39,100	33,000	17,000
■公益信託	0	0	1	0	0	580
■特定非営利活動法人	0	1	1	0	500	650
■国立研究開発法人（JST）	10	10	13	107,170	193,260	173,316
■国立研究開発法人（AMED）	6	6	5	60,303	88,500	50,160
■国立研究開発法人（NEDO）	0	1	2	0	5,000	25,300
■国立研究開発法人（NARO）	0	0	2	0	0	13,500
■国立大学等（所属大学）	4	1	2	15,868	1,000	2,050
■国立大学等（所属外）	0	2	3	0	3,220	3,700
■その他・不明	2	3	3	17,000	20,450	24,635

< 種目別獲得件数(千円) >

○研究活動実績について（その他）

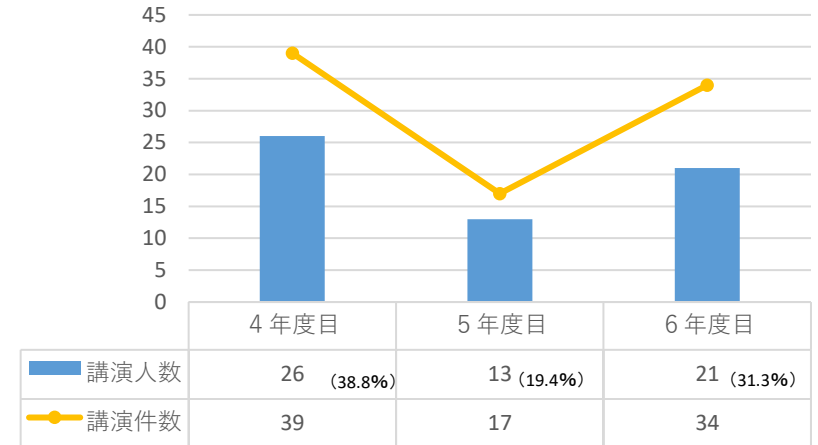
※各年度3件まで回答

<受賞歴>



※括弧内は回答者数に対する受賞人数の割合

<国際会議招待講演>



※括弧内は回答者数に対する講演人数の割合

賞の名称(6年度目)

○科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 ○若手農林水産研究者表彰（農林水産省農林水産技術会議会長賞） ○科学技術への顕著な貢献 2021（ナイスステップな研究者） ○発達科学研究教育センター 発達科学研究教育奨励賞 ○平成29年度日本ビフィズス菌センター研究奨励賞 ○第3回物質・デバイス共同研究賞 ○第5回バイオインダストリー奨励賞 ○日本植物生理学会奨励賞 ○日本エアロゾル学会論文賞 ○JCR 2021 ICW Excellent Abstract Award（日本リウマチ学会） ○日本微生物生態学会 第7回奨励賞 ○日本機械学会東海支部特別功労賞 日本機械学会東海支部 ○情報セキュリティシンポジウム イノベーション論文賞 ○2021 WAIB Best Paper Award ○International Conference on Electronics Packaging 2021, Outstanding Technical Paper Awards ○IEEE Transactions on Haptics Best Application Paper Award ○IEEE EMC-S Technical Achievement Award ○東京大学工学部2020年度Best Teaching Award ○令和3年度山形大学優秀教育者賞 ○2021年度 豊橋技術科学大学 研究活動表彰若手賞 など

その他実績

○国内共同研究（6名） ○国際共同研究（2名） ○特許出願（12名） ○書籍出版・執筆（10名） ○戦略的イノベーション創造プログラムへの参画 など